



2025年1月30日 N○2
全日本建設交運一般労働組合 中央本部

建交労

2025年春闘・月間推進ニュース

第26回中央委員会を東京都内で開催 2025年春闘へ全組合員が決起しよう

1月25日(土)に東京・台東区民会館にて、第26回中央委員会を開催しました。足立浩中央執行委員長のあいさつでは「25春闘が本番を迎えています。昨年の賃上げを上回る物価高騰となり、大幅賃上げなしに生活を維持していくことが本当に厳しくなっています。高齢者や中小零細企業の社長なども含め国民の多くが共通する実感ではないでしょうか。まさに『国民春闘』としてた



代表あいさつをおこなう足立委員長

かえる状況にあります。」、続いて「昨年と大きく違うのが政治状況です。自公政権は昨年の総選挙で、裏金疑惑を発端に自民党政治「NO」が突きつけられ、過半数を割る結果となりました。少数与党の為、国民民主や維新などにすり寄るなど政治状況が大きく変化した中での春闘ということになります。夏の参議院選挙は解散も視野に入れる状況下です。労働者・国民生活の改善を実現する政治への転換を求める運動が必要です。各職場・地域で、全組合員参加の春闘を闘い、社会のしくみを変えとりくみへ発展させましょう」と話しました。

その後、廣瀬書記長が25春闘方針、統一要求基準などを提案し、全体討論をおこないました。討論は全体で24名が発言し、「25春闘の構え、要求アンケート推進、各職場・地域と業種部会の経済闘争の推進、組織拡大、争議」など、物価高騰で厳しい情勢の中、各組織のとりくみが縦横に語られました。

全議案を採択し、2025年春闘闘争宣言を確認し、中央委員会を終えました。

全国ダンプ部会第30回定期総会

15組織24名が参加

全国ダンプ部会は、東京都内にて1月26日(日)、第30回定期総会を開催しました。各ダンプ支部から代表者24名が参加しました。総会議案にもとづいて、使用促進闘争や組織拡大のとりくみ、ダンプアンケート、大臣宛署名の推進について討論をおこないました。組織拡大では群馬ダンプ支部が健闘賞で表彰されました。新部会長に昆茂太郎氏(東北ダンプ支部・岩手分会)が選出されました。